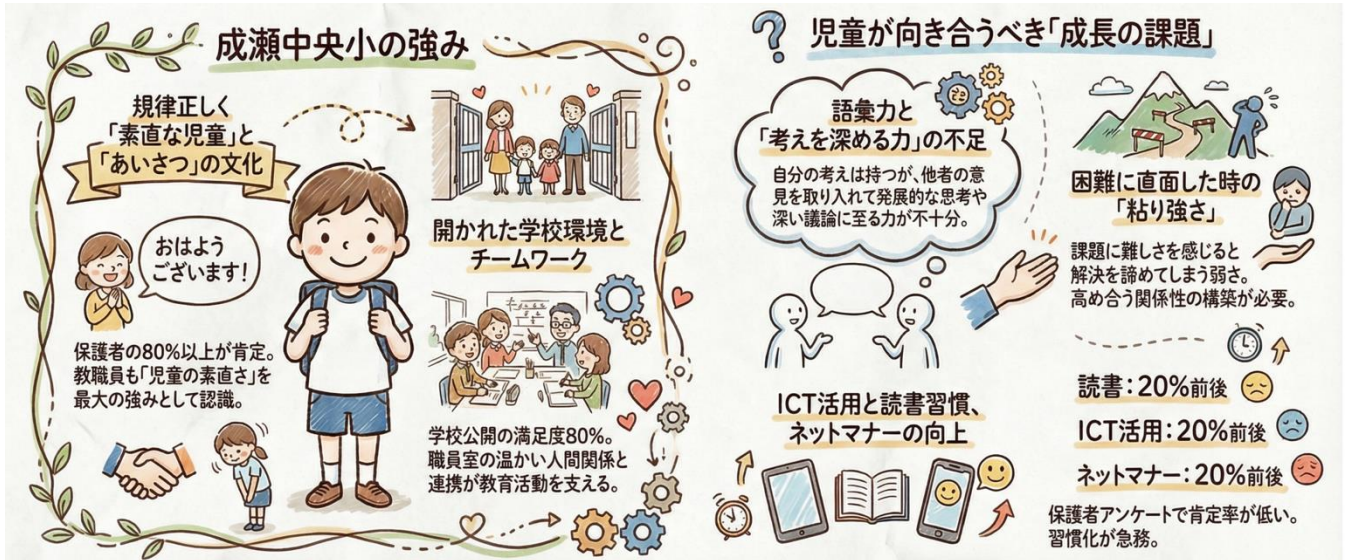


【町田市教育プラン24-28】自ら学び、あなたと学び、共に創る町田の未来 <学び続ける力の育成 >

【2026年度 学校教育目標】

○からだをきたえ やりぬく子ども ○よく考え すすんで行う子ども ◎なかよく助け合う子ども



【基本方針】 明るく楽しく 分かりやすく 安心できる 学校づくり (主役は子ども)

- ・明るく楽しく・・・子どもも教職員も笑顔でつながり、保護者・地域が「応援したくなる」明るい学校
- ・分かりやすく・・・何を学ぶか・なぜ学ぶかが明確で、分かる・できる喜びを積み重ね、自らの成長が実感できる学校
- ・安心できる・・・心理的な安全性が確保されている学校。清潔感にあふれており、誰にとっても居心地のよい学校

	子ども	保護者	地域
明るく楽しく	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かった！できた！」を実感できる授業がある ・挑戦や努力を認めもらえる学校 ・友達と関わりながら学ぶ楽しさ ・自分の意見や考えを聞いてもらえる ・自分の意見や考えが価値づけられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「学校が楽しい」と話す ・学校と子どもとの関係が良好である ・学校での様子を笑顔で報告してくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の関わりが活発 ・行事や交流が楽しい ・地域に元気を与える学校
分かり易く	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や目標がはっきりした授業 ・「なぜ学ぶのか」が分かる学習 ・基礎・基本を繰り返し確実に身に付けられる学びの機会がある ・自分の意見や考えを段階的に表現できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の方針や取組が理解しやすい ・子どもに取り組みせる学習内容が明確である ・指導や対応の理由が分かる ・連絡や情報発信が丁寧 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の目指す姿が明確 ・地域との役割分担が分かる ・協力の仕方が見えやすい ・踏み込んで良い部分といけない部分がわかりやすい
安心できる	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗しても責められず、そこから学び、再び前に進むことができる学級 ・いじめを見逃さず守られる環境(未然防止・早期発見・早期対応) ・自分のペースで学び直せる時間と場 ・友達どうしの仲がよい ・良さを認めもらえる ・自分の行動が価値づけられている ・身の回りの整理整頓を行う時間が確保されており、自分のペースで行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自らが最良の教育環境となり、研鑽し続けていること ・子どもを安心して学校に任せられる ・困ったときに相談できる ・ささいないじめを見逃さず、誠実な対応をしてくれる ・担任や専科、養護、時間講師をはじめとした教職員が、我が子を大切にしてくれていると実感できる ・子どもが学習に意欲的に取り組むことができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点として信頼できる学校 ・緊急時に連携できる関係 ・子どもを地域で見守る体制 ・困りごとのハブ機能をもっている(こまったときに他機関を紹介したり繋いだりしてもらえる) ・校舎内の清掃が行きとどいている ・学校や教職員に清潔感がある ・校内の案内表示がわかりやすい
互いの考えを伝え合い、認め合える関係			

【重要施策1】誰にとってもわかりやすい授業の推進

＜授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る＞

- ・個別最適な学びによる、基礎学力を身に付けるための取組の推進
- ・AIドリルソフト(Qubina)やアナログ教材(ドリルやプリントなど)を活用した習熟の把握
- ・町田市特別支援教育ハンドブックの効果的な活用(ユニバーサルデザイン視点による授業づくり)
- ・子どもたちから笑顔が出てくる授業づくり
- ・互いの考えを伝え合い、認め合う児童育成のための研究推進
- ・読書活動の充実
- ・外部専門家による情報モラル授業
- ・子どもたちが学習するための基盤となる授業規律の徹底
- ・子どもたちの興味・関心を高めるために導入の工夫
- ・教員同士が、互いの授業を見合う活動を推進
- ・体育科の授業における怪我の予防や安全指導の徹底
- ・子どもたちができたこと、新しく発見したこと等を教師が見つけ、ほめる取組の推進

【重要施策2】いじめの早期発見・早期対応に向けた取り組みの推進

＜いじめ対策は、断固たる決意をもって取り組む＞

- ・心のアンケートに対する組織的な対応(学校いじめ対応チームで対応)
- ・学校いじめ対応チームによる組織的な対応
(月1回以上の開催、行事予定への位置付け、必要に応じて臨時に開催)
- ・相談できる大人がいるかを全ての児童に確認
- ・SNS等のネットトラブルを防ぐための授業の実施
- ・いじめに関する授業、SOSの出し方に関する授業
- ・学級担任による児童との面談
- ・いじめ対応のスキルアップを図るための研修
- ・新しい情報モラル教育の計画的な推進
- ・Q-U調査年2回の実施及び活用(第5学年を予定)
- ・7月、12月に保護者との個人面談の実施(1学年のみ4月も実施予定)
- ・町田市教育委員会 いじめ匿名連絡サイト「スクールサイン」の周知
- ・SNS等のネットトラブルを防ぐための授業(高学年)
- ・特別の教科 道徳の充実
- ・いじめに関する授業を年間3回以上実施

【重要施策3】地域と連携した教育活動の推進

＜地域の中の学校、地域とともにある学校を実現する＞

- ・子供たちが活躍したり、体験したりできる場の提供
- ・環境整備の取組
- ・地域防災の取組を地域・保護者とともに推進
- ・地域コミュニティー行事(お祭り等)との連携